

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人間発達学		(リ理.理) 必修 (福.人) 選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
粕山 達也	D311	kasuyama	月曜日 13:00~14:30		
授業の目的・概要	人間を発達の視点からとらえ、生涯発達の支援で展望する事ができる。また、人間を発達の視点で捉える事でその後学ぶ臨床的な知識の理解をより深める事ができる。授業を通して自分自身を振り返るとともに今後会う対象者の理解に役立てる。各回の内容について、動画を含めて理解し、その後の課題を通じたフィードバックと Teams を利用した意見交換を行い、発達に関する理解を深める。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> デイアクション・レポート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	人間を身体と精神の両面から生涯発達する存在として捉え、ライフステージにおける発達過程を講義する。発達の視点より生命倫理の観点についても授業内容に取り込む。また、目と手の協調・日常生活動作(食事・排泄・更衣)遊び・社会性の発達を深く掘り下げる。特に原始反射、姿勢反応と乳児の運動発達過程については予習・復習を行ってほしい。				
教科書	イラストでわかる人間発達学 /監修：上杉雅之 /医歯薬出版 /2015				
参考書	発達を学ぶ 人間発達学レクチャー / 著：森岡 周 / 株式会社 協同医書出版社 / 2016				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	原始反射と姿勢反応について理解し、説明できる			HSU(2) RH(2)	
②	乳児の運動発達過程を理解し、原始反射と姿勢反応との関係性について説明できる			HSU(2) RH(2)	
③	各ライフステージにおける発達課題と危機について理解し、説明できる			HSU(1)、(2) RH(2)、(4)	
④	「命」について生倫理の観点から深く考え、自分なりを説明できる			HSU(1)、(2) RH(1)、(2)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	リハビリテーションにおける運動発達の重要性を学習する [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	自らの発達状況について確認する。	4	
2	発達概念：人間発達の区分、発達の原則、治療における発達の重要性(ライフステージ)について学習する [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第1章)。	4	
3	発達理論について・漸成的発達理論(エリクソン、ピアジェ、フロイト)について学ぶ [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第2章)。	4	
4	発達検査について(遠城寺、GMFCS、デンバー、PEDI) 学ぶ [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第3章)。	4	
5	姿勢反射/反応：乳児期の運動発達過程と原始反射、姿勢反応との関連性を学ぶ [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第4章)。	4	
6	運動発達について(0~3か月、4~6か月)(乳児期)学習する [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第5・6章)。	4	
7	運動発達について(4~6か月、7~9か月)(乳児期)学習する [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第6・7章)。	4	
8	運動発達について(7~9か月、10~12か月)(乳児期)学習する [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第7・8章)。	4	
9	運動発達について(13~18か月)(幼児期)学習する [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第9章)。	4	
10	学童期の発達について(社会・心理・身体)学習する<食事・上肢> [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第10章)。	4	
11	青年期・成人期の発達について(社会・心理・身体)学習する [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第10章)。	4	
12	感覚・知覚・認知・社会性の発達について学習する [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第14章)。	4	
13	高齢期の発達について(社会・心理・身体)学習する [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第14章)。	4	
14	ADLの発達(排泄・更衣・遊び)を学ぶ [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第13章)。	4	
15	発達に関するまとめを行う [担当 粕山達也]	同時双方向型授業	教科書を読む(第14章)。	4	
試	レポート課題にて実施				

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		0	100	0	0	0		
総合 力 指 標	知識・技術力	0	50	0	0	0	50	
	思考・推論・創造する力	0	30	0	0	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10	
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	各講義の課題およびレポートを提出する。各講義の課題については、Teams 内に設定し、期限内に回答するものとする。レポートは、人間発達学とリハビリテーションへの関わりについてまとめる。				各回の課題に対して解説を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	理学療法士（臨床経験 17 年） 整形外科クリニック 6 年 訪問リハビリテーション 11 年 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（臨床経験 17 年、資格取得後 7 年）							
実践的授業の内容	臨床現場に多い疾患に関する講義を行い、症例を提示した実践的な学習内容を提供する。							
そ の 他	Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 遠隔授業では、課題のダウンロードや動画視聴などがあるため通信量に十分に注意すること。 今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性がある。							